

大学生初対面会話における呼びかけ表現とその際の言語行動に関する日韓対照研究

金兌妍(九州大学大学院生) 東出朋(長崎国際大学)

1. はじめに

初対面会話では、通常、会話参加者らはお互いの名前や年齢などを確認し呼びかけ表現¹を決める。本稿は、日韓大学生の初対面会話場面で、聞き手の呼びかけ表現をいかに決定し、それをいつ用いるかという言語行動について分析したものである。

2. 先行研究

呼びかける際の言語行動に関する日韓対照の先行研究として、洪(1997)は大学生同士が用いる呼称についてアンケートで親疎と男女の要因別に調べた。その結果、親しくない関係において、日本人大学生では先輩に対しては主に「姓+さん」、同級生と後輩に対しては主に「姓+さん」と「姓+くん」が選択された。韓国人大学生では先輩に対しては「(名前+) 언니(お姉さん)」と「(名前+) 형(お兄さん)」という親族名称、同級生と後輩に対しては「名前+아(お)」が多く選択された。しかし、これらの呼称は既知で疎の関係での呼び方で、初対面での呼称とは限らない。また、ファンからスポーツ選手に対する呼びかけ場面と夫婦の会話場面では、韓国語母語話者は日本語母語話者より多様な種類の呼びかけ表現を用い、その頻度も高いことが明らかになっている(尹, 2007; 2008)。

本研究が大学生の初対面場面を選んだ理由は、初対面場面の分析の知見は言語教育に資すると考えるからである。通常、言語学習者は目標言語でコミュニケーションすることを目指す。目標言語の話者と「初めて」出会う際に相手をいかに呼ぶか、いつ呼ぶか、またその呼ぶ行為が意味することについて、教育現場で提示しておく必要があるだろう。

3. 分析データと分析方法

分析データは奥山(2004)の大学生2者間の40分間の会話で、日本語会話が16組、韓国語会話が26組である。参加者はインターネットで応募し、話題は指示されなかった。会話が行われた場所は日本(福岡、東京)と韓国(ソウル)の大学の研究室で、会話する2人の間に録音機器を置いて録音された。その録音の文字化資料を用いる。

分析方法は、文字化資料から、まず名前、学年、年齢などの個人情報の確認の有無を調査し、聞き手に対する呼びかけ表現の使用を抽出した。その後、聞き手を呼びかける際の日韓の言語行動の共通点と相違点を明らかにした。

4. 分析結果

分析の結果、日本語会話では初対面の聞き手を呼びかけ、言及する言語行動がほとんど見られなかった。韓国語会話では女子大学生同士で聞き手を呼びかけ、言及する場面が多く見られた。日本語と韓国語の呼びかけ表現とその際の言語行動について明らかになった点として、以下の3点が指摘できる。

4. 1 個人情報の確認作業と呼びかけ行為の関係

表1 呼びかけ表現を用いるために必要な情報の確認有無と呼びかけ表現の使用状況

	上下確認	名前確認	呼びかけ	言及
JM	100% (9/9)	78% (7/9)	0% (0/9)	22% (2/9)
JF	100% (7/7)	86% (6/7)	0% (0/7)	0% (0/7)
KM	100% (14/14)	50% (7/14)	0% (0/14)	36% (5/14)
KF	100% (12/12)	75% (9/12)	67% (8/12)	67% (8/12)

¹ 呼びかけ表現には呼称語(Vocative)と言及語(Reference)を含む。

日本語会話と韓国語会話の全てでお互いの上下は確認したが、名前は確認しないこともあった。日本語会話では聞き手の年齢や学年、つまり上下の確認と名前の確認を行ったにもかかわらず、その情報をもとに呼びかけ表現を用いることはほとんどなかった。これは、日本語母語話者は呼びかけの使用をできるだけ回避するという水野(1999)の指摘と一致する。一方、韓国語会話では聞き手の年齢や学年を確認した後、上下に関する情報をもとに呼びかけ表現を用いる場面が見られた。名前を確認しても、名前を用いて聞き手に呼びかけることはなかった。つまり、洪(1997)では名前を伴う親族名称と伴わない親族名称による形式が用いられると指摘されたが、本稿のデータでは名前を伴わない親族名称のみの形式が使用されていた。上下確認と名前確認の会話を示す(会話1と会話2)。

【会話1】

JF2A: こんにちは. よろしくお願ひします. 名前を聞いてもいいですか?

JF2B: はい. JF2B です.

JF2A: JF2A です.

JF2B: JF2A さん.

JF2A: はい.

JF2B: いくつですか?

JF2A: 私 20 歳です. いくつなんですか?

JF2B: 私は 18 です.

JF2A: 全然そんな風に見えない.

【会話2】

KF2B: 어디 학교. 학교...가 어디예요? (どこ, 学校. 学校...はどこですか?)

KF2A: D 여대요. 우리학...교 아니세요? (D 女子大です. うちの学..校ではないですか?)

KF2B: 네. 저는 B 대학교 I 학과 95 학번 KF2B 이예요. 어 하하. (はい. 私はB 大学I 学科95 年度入学です.)

KF2A: 95 학번이세요? (95 年度入学ですか?)

KF2B: 95 학번인데요. 1년 휴학해서 어 지금 3 학년, 3 학년이요. 어, 그 쪽은요? (95 年度入学ですけど. 1 年休学して, えー, 今 3 年生, 3 年生です. えー. そちらは?)

KF2A: 전...97 학번이거든요. 2 학년이고 (私は97 年度入学なんですよ. 2 年生で)

KF2B: 그럼 21...21 살이에요? (じゃ, 21...21 歳ですか?)

KF2A: 네. (はい.)

<中略>

KF2A: 언니 M 여고 나왔어요? (お姉さん, M 女子高出ましたか?)

KF2B: 응. 왜 왜? (うん. なんで, なんで?)

<中略>

KF2A: 그럼 언니는 지금 어디서 사세요...집이 어딘데요? (じゃ, お姉さんは今, どこに住んで...家はどこなんですか?)

KF2B: 집은 지금 세종대학교 뒤에...군자동. (家は今, 世宗大学の裏の...君子洞.)

4. 2 上下に基づく呼びかけ表現の明示的な確認

多くの韓国語会話では聞き手との関係が同等なのか上下なのかを明示する発言が観察された。例えば「형이네요? (お兄さんですね)」、「동갑이네요? (同じ年ですね)」という発言である。その後、上位者に対しては「언니(お姉さん)」、「형(お兄さん)」という親族名が、同等・下位者には人称代名詞「너(あなた)」が用いられた。一方、日本語会話では呼びかけ表現を明示的に確認する発言は一切なかった。

【会話3】

KF12B: 몇년생이세요? (何年生ですか?)

KF12A: 저 78 이요. (私 78 年生まれです.)

KF12B: 예에...전 76 이거든요. (はい. 私 76 年生まれなんですけど)

KF12A: 어...언니네요? (あ...お姉さんですね)

<中略>

KF12B: 어... 딱보면 다 막내 같던데. (あ...パッと見たらみんな末っ子ばいって)

KF12A: 아니야... 보이지 않는 곳에서... 내가 독심술을 좀 하길랑. (いや...見えないところで...私が読心術をちょっと持っているんだ)

KF12B: 언니는? (お姉さんは?)

KF12A: 나는 셋째야. (私は3番目だよ)

KF12B: 언니는 남자친구 있어요? (お姉さんは彼氏いますか?)

KF12A: 남자친구 많지. (男の友達なら多いよ.)

KF12B: 사귀는 사람? (付き合っている人?)

KF12A: 남자친구야 되게 많지. (男の友達ならたくさんいるよ.)

KF12B: 언니 이쁘니까 많이 있을 것 같애. (お姉さん, 可愛いからたくさんいるような気がする.)

KF12A: 너 지금 초면부터 막... 내 이름 뭔지 기억해? (あなた, 今初対面からそんな...私の名前何だったか覚えてる?)

4. 3 呼びかけ表現の種類と使用の違い

2人の会話では、一方が話し手の場合もう一方は聞き手であることは双方が了解しているため、あえて呼びかける必要性は低いと一般に考えられる。日本語会話では聞き手に呼びかけたり言及したりすることはほとんどなかった(会話4)。韓国語会話でも、日本語会話のように、一度も聞き手に呼びかけたり言及したりしない会話もあった。特に男性同士の会話で多かった。²一方、韓国語会話では、聞き手に呼びかける必要性が低いと思われる場面であえて使用される例がみられた(会話5)。その場合、「언니(お姉さん)」、「형(お兄さん)」、「너(あなた)」が用いられた。ただし、尹(2007, 2008)のデータでは多様な種類の呼びかけ表現がみられたのに対し、本研究のデータでは聞き手に対する呼びかけ表現は1種類しか用いられなかった。韓国語の呼びかけ表現の使用頻度が日本語より高いという結果は先行研究と一致する。

【会話4】

JF7A: いいね, バイトやってちゃんと北海道に行くという目標があって, 今日とかかもしれないけど.

JF7B: 両方行きます.

JF7A: あ, 両方行くのか.

JF7B: そのために頑張るんです! まあ, なんとかたまりそうかな.

JF7A: 京都市行ったことある?

JF7B: ないです.

JF7A: 私もね, 初めて3年生の時に行って, よかったよ.

JF7B: よかったですか. 私, 中国地方と九州しか行ったことがないです. 北海道は1回, 修学旅行で行ったんですけど

JF7A: 修学旅行, 北海道なんだ. スキー?

【会話5】

KF5B: 선생님이 틀려서 그런가봐(어)<짧은침묵>너 땀 많이 안 나는 편이지? (先生が異なるからそうかも(あ)<短い沈黙>あなた, 汗たくさんかかない方だね?)

KF5A: 아니예요. 대개 많이. 아까전에 여기 교수님들 봤거든요. 근데 딱 들어가야 되는데. 너무 땀을 많이 흘려가지고 화장실에서 막 닦고 왔어요(어)내 친구는 손만 씻었는데. 나는 얼굴 다 닦았어요. 땀 대개 많이 흘려요. 한번 움직이는게. (いいえ. 本当にたくさん. さっき, ここに大学の先生たちに会ったんですよ. でもすぐ入らないといけないのに. 汗かきすぎてトイレで全部ふいて来ました. (あ)私の友達は手だけ洗ったのに. 私は顔を全部ふきました. 汗たくさんかきます. 一回動くことが.)

KF5B: 가끔 움직이기가 싫어. 아까전에 우산 가져왔어? 아까 비 오는 거 같던데. (たまに動きたくないよ. さっき傘持って来た? さっき雨降ってた気がするんだけど.)

KF5A: 이상하게 요즘엔 장마. 비를 꼭 맞아요. 항상. 딱 나오면 비가와요. (おかしいことに最近梅雨. 雨に必ず降られます. いつも外に出たらちょうど雨が降ります.)

² 男性同士の会話では聞き手との基本的スピーチレベルも普通体に変化させなかったことから, スピーチレベルと呼びかけ表現は密接に関係があると考えられるが, ここでは扱わない。

KF5B:비 대개 많이 오지 않냐? 너 비오는 날 좋아해? (雨たくさん降ると思わない? あなた雨が降る日好き?)

KF5A:아니요. 나 학교 안가. (いいえ. 私, 学校行かない.)

KF5B:<웃음>비 오는 날 대개 싫어해. 대개 싫어. (어)어제는 비 맞고 들어갔는데 집에 갈때. (어)몇시에 들어갔어?<웃음><笑>雨降る日, 本当に嫌い. 本当に嫌い. (あ)昨日は雨に濡れて帰ったんだけど, 家に帰る時. (あ)何時に帰った?<笑>

KF5A:언니. 언니 혈액형이 뭐예요? (お姉さん. お姉さん血液型は何ですか)

KF5B: O 형 (O型)

KF5A: O 형. (O型)

KF5B:너는? (あなたは?)

KF5A:B 형이요. (A型です.)

5. 考察

日本語の自然談話では呼びかけ表現を避ける傾向にあるという指摘(水野, 1999; 水谷, 2015; 東出, 2020)の通り, 初対面場面でも呼びかけ語の使用が避けられていることが見てとれた. 一方, 韓国語の初対面場面では「언니(お姉さん)」や「형(お兄さん)」という上下に基づく呼びかけ表現の明示的な確認とその使用が観察された. 韓国語の疑似親族名称による呼びかけ表現は, 相手への親近感を示すことにより人間関係における距離を縮めるポジティブ・ポライトネスの機能を持つと指摘されている(林・玉岡, 2009; 元, 2018). つまり, 初対面場面において日本語と韓国語では呼びかけ表現の使用方略が異なると言える.

これらの特徴は, 双方の言語教育で重要な知識である. 接触場面において, それぞれの言語話者の呼びかけ語使用におけるずれ違いが予測されるからである. 呼びかけ表現を避けようとする日本人韓国語学習者は, 韓国語母語話者に親密さを伝えることができないだろう. 一方, 呼びかけ表現の使用を避けない韓国人日本語学習者は, 母語でのストラテジーを日本語に応用する場合, 親密さを伝える意図が裏目に出て相手に違和感を覚えさせることになる. 이(2010)は日韓の呼称をそれぞれ直訳して呼ぶことは違和感を生じさせる恐れがあると指摘するが, 「何と呼ぶか」だけでなく, 「呼ぶか呼ばないか」, 「いつ呼ぶか」という選択も言語によって異なるため注意する必要があることが本稿の観察から示されるだろう.

6. おわりに

韓国語の呼びかけ表現が担っている親密さの表出という機能を日本語ではどのような表現が担っているかを分析することは, 今後の課題である.

参考文献

- 東出朋 (2020). 初級段階の日本語教育における呼びかけ語. 松村瑞子・山崎和夫・因京子 (編) 語用論研究の可能性, 487-495
- 洪珉杓 (1997). 韓日両国呼称의 社会言語学的考察—大学生들의 呼称使用을 中心으로— 日語日文学研究, 30, 481-505.
- 이영주 (2010). 한일양국의 2인칭 호칭 사용 실태—대학생 간의 호칭을 중심으로—日本語教育, 52, 111-127
- 林炫情・玉岡賀津雄 (2009). 韓国人大学生の先輩に対する「親族名称」と「実名」の使用に関する適切度を決める諸要因 ことばの科学, 22, 137-149
- 水野マリ子 (1999). 談話における呼称の機能 神戸大学留学生センター紀要, 6, 65-80.
- 水谷信子 (2015). 感じのよい英語 感じのよい日本語—日英比較コミュニケーションの文法— くろしお出版
- 奥山洋子 (2004). 이렇게 다르다! 한국인과 일본인의 첫 만남의 대화: 부록 한일양국의 남녀 대학생 42 쌍의 첫 만남의 대화(40 분간) 오쿠야마요코/이즈미지하루자료 보고서
- 元知恩 (2018). 日韓의 텔레비·드라마에用いられた呼びかけ表現—ポジティブ・ポライトネスの観点から— 日語日文学, 79, 125-141.
- 尹秀美 (2007). 呼びかけ表現の使用パタンの日韓比較: インターネットサイト上のメッセージを例に 金沢大学経済学部社会言語学演習, 3, 37-62.
- 尹秀美 (2008). 呼びかけ表現を好む韓国人, 呼びかけ表現を避ける日本人: コンテキスト化の合図という観点から 韓国語學年報, 4, 21-31.